

平成30年度

漁港漁場講習会を開催



講習会の様子

全国漁港漁場協会

（公社）全国漁港漁場協会の橋本牧会長からこの講習会は、昭和42年から毎年開催しており、52回目の開催となる。都道府県や市町村の実務を担当している方々にとり、最新の情報が得られるよう努めている。昨年は漁業法の改正が行われるなど大きな動きがあり、予算も増え、算が

（公社）全国漁港漁場協会の橋本牧会長からこの講習会は、昭和42年から毎年開催しており、52回目の開催となる。都道府県や市町村の実務を担当している方々にとり、最新の情報が得られるよう努めている。昨年は漁業法の改正が行われるなど大きな動きがあり、予算も増え、算が

ついた。本日は、担当者からこれらを含めた説明をお願いしている。本日の講習会の内容を、業務に活用して頂きたい。との挨拶があった。

次に、来賓の水産庁漁港整備部防災課長から「水産庁は、現在、水産政策の改革に取り組んでいる。この改革は、浜で頑張っている方が引き続き安心して活躍できる環境をつくることを基本としており、将来にわたり水産業や漁村が活性化するように現場の声をしっかりと聞きながら施策を展開する。漁港整備部については水産改革に即した着実な推進をはかる。昨年は台風や地震等が多発したが、漁港海岸における重要施設の集中点検を実施し、今後防

災・減災・国土強靱化のための3カ年緊急対策を実施していく。浜方面は、期目のプランに移行予定であり、漁村の活性化につなげていきたい。本日の講習会も皆様と今後、現場を活躍させるための期待を込めての挨拶があった。

講習内容と講師は次の通り。（敬称略）

- 平成31年度予算概算決定、水産整備部事業の概要・水産計画課課長 補佐 内田智
- 平成31年度予算概算決定、増産関係予算の概要・水産政策課課長 補佐 金子守男
- 水産改革法案について 指導官 菅嶋彰彦
- 漁港施設に関する利用規制の緩和とこれに対応した放置対策及び地域活性化について・水産庁 技術センター 金銀伸義

第32回 福岡県市町水産関係職員研修会

福岡県漁港漁場協会



受講者の様子

（一社）福岡県漁港漁場協会（会長・佐藤政俊 福岡県漁業局長）は、2月26日（火）福岡市内の「福岡県中小企業振興センター」において、第32回福岡県市町水産関係職員研修会を開催した。当研修会は、福岡県の協力のもと漁港漁場協会が

年開催しており、県及び市町の水産関係担当職員約36名が参加した。研修会は、主催者を代表して佐藤政俊会長、来賓として石川若行・農林水産部水産局水産振興課参事の挨拶に続いて講義が行われた。

今年度は、水産庁漁港整備部計画課より課長補佐の内田智氏、同じく水産庁漁港整備部防災課課長の災害査定官の佐野文敏氏、また財務省福岡財務支局理財部主計課の工計実地監査官の吉田一雄氏をお迎えし、実務レベルの具体的なお話を災害査定現場に即した適切な対応について、また、日頃からの管理の在り方について、非

常に参考となるお話を頂いた。福岡県においては平成29年7月の九州北部豪雨災害による被災した5年ぶりの災害査定に苦戦しているが、今後想定される自然災害への備えとして、復旧事業の概要についての研修を2年連続行った。査定官と立会官が互に補っての研修会は、全国初の試みとなり、受講者の関心は非常に高く、熱心に聴講した。

演台と講師は次のとおり

- 平成31年度水産政策の概要について
- 水産整備部事業の概要について
- 平成31年度予算概算決定について
- 水産改革法案について
- 漁港施設に関する利用規制の緩和とこれに対応した放置対策及び地域活性化について

災害復旧協定を締結

水産土木建設技術センターと鋸南町

（一社）水産土木建設技術センター（金銀伸義 理事長）は、3月10日同センター内において、千葉県鋸南町（白石和町長）との間で締結する「漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定」の調印式を実施した。

この協定は、近年、頻発し規模も大型化している自然災害による漁港施設が被害を受けた場合、災害復旧を迅速に行うため、同センターが発注者を支援するために締結している。今回の協定は、漁業関係者から対象を絞った高根県松江市（平成30年8月1日締結）、漁港・漁場・漁村・海岸施設を対象とした岩手県宮古市（平成31年1月16日締結）に続く3例目である。水産土木建設技術センターは、これまで県及び市町村の災害復旧支援として、調査・発注補助業務・工事監督補助業務を実施しており、この経験を生かして



調印式での宇賀神理事長（中央）と白石町長（その右）

漁港往来

自2月11日 至2月28日

2月2日（土）
全国漁港漁場協会
橋本会長は沖繩県へ出張

2月12日（火）
全国漁港漁場協会
橋本会長、佐治総務部長は福島県へ出張

2月27日（水）
長崎県漁港漁場協会
会事務局次長川田信英氏

2月28日（木）
愛媛県漁港漁場協会
会事務局長若洲博文氏

技術職員の減少や技術力の不足等から災害復旧事業を迅速に進めることが困難な場合が懸念されている市町村と災害復旧支援協定を締結し、突然訪れる災害時の緊急体制を整え、災害復旧支援協定の支援業務を実施し、完了のための支援・監督補助、検査補助、設計変更協議資料の作成補助、成功認定金等）が盛り込まれている。

ながさきSUISAN・ウィンタースクール開催

（一社）長崎県漁港漁場協会（平成31年2月20日）、「ながさきSUISAN・ウィンタースクール」を長崎市内のホテルセントヒル長崎で開催した。

このスクールは、水産資源を育み、元気な水産業と漁村にのびのびの創出に向けての新水産基本方針と漁港漁場整備長期計画並に水産政策改革などの展開方向との連携とをテーマに、新たな各分野の発見・探索を育むための必要最善情報などを提供し、本県水産業の発展と地域の活性化に資するため、「水産業の成長」をテーマとして、水産関係者を対象に実施したもので92名が参加した。

今回の同スクールは水産庁、長崎県、長崎県市町長会、長崎県漁協連合会、長崎県漁協事務参事会の後援を得て行った。

開校に先立ち主催者を代表して比田勝尚会長の挨拶のあと、参加者は講師6名の熱心な講義に聞き入り、

同スクールは3部の構成で、20日13時00分17時15分まで行われ、その演題と講師は以下の通り。

- 第一部「水産政策改革」講座
演題：水産政策の改正を含む（一）講師：水産庁漁港整備部計画課長補佐 内田智
- 第二部「国の新年度概要と水産政策の推進」講座
演題：平成31年度水産政策の概要について（講師）水産庁漁港整備部計画課長補佐 内田智
- 第三部「漁村の自然災害への対応力強化」講座
演題：国土強靱化の実現のための緊急点検と対応について（講師）水産



挨拶する比田勝尚喜会長

産庁漁港漁場整備部防災課長補佐 中瀬 潤

- 第四部「漁村の賑わい」講座
演題：民間事業者等との連携による水産都市の活性化方策の手引き（案）について（講師）水産庁漁港整備部計画課長補佐 塚本邦芳
- 第五部「水産業の成長」講座
演題：水産情報発信ポータルサイトの構築とローンの活用と漁村発信力の向上（講師）（一社）全日本漁港建設協会 会長 長野草
- 第六部「水産業の成長」講座
演題：参加者自身のキャリアと知恵・工夫と漁村地域の活性化を語る情報交換